

【関係資料】

第4章 基本計画 部門別計画

No	ページ	意見内容		対応案
		(1) 部門別計画案の個別の表現について		
1	5頁	取組3「母子保健の充実」の表現がP18「児童・母子・父子」と混同される恐れがないか。		項目上での違いは明確化されており、混同されることはないとする。
2	18頁	「児童・母子・父子」の目標に「子どもが大切にされる…」とあるが、現状では子どもが大切にされていないという誤解を招くのではないか。「子どもを見守り、支援する…」などの表現に改めてはどうか。		言葉上の問題ではあると考えているが、まさに大切にされていないことがあるため、この表現にした意図もあるが、「子どもの立場が大切にされる…」と変更したい。
3	20頁	「協働の進め方」の中の表現で「居場所の提供」と「居場所の設置(P26)」と類似した表現があるが、あえて表現を変えたのか、同じ意味で使われるのであれば統一すべきではないか。		児童・母子・父子福祉の住民の役割中、＜団体＞の一つ目、「子どもの居場所の設置」に統一する。
4	58頁	「協働の進め方」の中で「自助・互助・共助・公助」の表現があるが、住民の役割には互助に該当する表現がないので加えるべきではないか。		「互助・共助」に該当する表現の表記について検討する。
5	64頁	「取組2 防犯活動の充実」で最も重視すべきなのは、不審者を近寄せないことと考えるので取組のなかに「挨拶が交わされることで不審者の近寄りにくい地域づくり」などの文言を加えられないか。		挨拶は地域づくりの基本であるので、防犯活動への表記は今のところ考えていない。
6	77頁	「取組1 幹線道路の整備」の中で、これまでに計画された道路について、計画自体の見直しを加えるべきではないか。加えるのであれば、その旨を行政の役割に追記してほしい。		「見直し」を前提とした総合計画策定は、不適切と考え、見直しについては、整備が事業化される時点で必要に応じ実施することになるため、あえて記載はしません。
7	92頁	「事業者」、「事業所」といった言葉の定義を明確にすべき。		言葉の定義を揃える。
8	93頁	住民・事業者・行政の役割が他の施策に比較して表現がわかりづらい。箇条書ではなく他の施策にあるような文章に改めるべき。		他の施策と表現を揃える。
9	106頁	目標に「互いに認め、」とあるが「互いに認め合い」としたほうが、より明確に意図が伝わるのではないか。取組2の実施内容の最初の表現がわかりづらいので、「多様な生き方の尊重である男女共同参画の意識づくりや様々な分野に働きかけるなどの啓発を行います。」としてはどうか。		参考意見として検討する。
10	全体	「協働の進め方」の中の住民・事業者・行政の立場が並列の立場であるレイアウトにしてはどうか。「住民の役割」は言い切りの箇条書きではわかりづらいので、分り易い文章に改めるべきではないか。		「協働の進め方」については、第6次東浦町総合計画書の製本時に並列のレイアウトにする。また、「住民の役割」の表現については、審議会で検討する。
11	全体	関連計画・関連施策・用語解説が並んでいるが、用語解説は意味合いが違うので、分けた方がいいのではないか。		第6次東浦町総合計画書の製本時に用語解説の部分を分けて表記する。
12	全体	「目標」「現状」「課題」がそれぞれわかりにくい。「現状」と「目標(目指すべき姿)」のギャップが課題であり、ギャップを解消するための方策が取組ではないか。		「目標」については、別紙「基本計画の目標見直し一覧表」で見直しを行っている。「現状」「課題」については、各施策で検討する。
13	全体	「取組の成果指標」の5年後、20年後が現在から5年後、20年後に誤解されるので、西暦表記も加えた方がよい。		西暦表記を追加する。
14	全体	「目標」の表現について、「～に取り組みます」「～を推進します」というのは目標ではない。交通安全や防犯のように目標の表現をシンプルに分り易くすべきではないか。		別紙「基本計画の目標見直し一覧表」で見直しを行っている。
15	全体	目標の成果は何かということに拘って、成果指標を再検討してほしい。		第4回東浦町総合計画審議会にて、成果指標の目標値を設定した根拠を示す。